

■(島津)随真院 藩主正室。幕末の江戸立退き命で初入部，道中ユニークな日記，藩民から慕われるも，廃藩置県。

ずいしんいん
宣長没・・・1801＝江戸藩邸で，奥州二本松城主の娘を母に，薩摩藩主島津斉宣の四女に生まれる。
幼名高姫，のち随姫。

・・・1810＝9歳：

伊能測量終・1816＝15歳：支藩の佐土原藩主島津忠徹に輿入れし，その後も江戸に在住したまま，

水野忠成老中1818＝17歳：
群書類従完結1819＝18歳：

膝栗毛終・・・1822＝21歳：長男を出産，

シボム事件・1828＝27歳：次男を出産。するなど，
3男4女に恵まれたが，

・・・1836＝35歳：長男が盛大な元服の儀を挙げた直後，病に倒れて死去。
大塩平八郎乱1837＝36歳：

蚕社の獄・・・1839＝38歳：夫忠徹が参勤交代で江戸に向う途中，近江の草津宿で頓死。嫡子の次男に相続許可を取っていなかったため，'夫は重病'と偽り，跡目相続の許された翌日に死亡の報告をし，落飾して随心院と号する。

阿部正弘首座1845＝44歳：
孝明天皇・・・1846＝45歳：

ペリー来航・1853＝52歳：

安政大地震・1855＝54歳：

桜田門外変・1860＝59歳：

8月18日政変 1863＝62歳：*江戸が異国船の噂で騒然となる中，將軍家茂が上洛，ついで江戸に生れ育った大名の正室たちに立ち退き命令が出，薩摩藩主夫人に同行して江戸を出，各大名夫人が一斉に追い立てられたため，街道で宿取り合戦が起き，上尾では'あやしき寺'に泊まることを余儀なくされ，お福という名の雌犬を膝に，中山道を過ぎ，途中近江国草津で夫を偲んで歌を詠み，山陽道から九州を南下，佐土原に入るまで，道中日記に書く。

禁門の変・・・1864＝63歳：余生を佐土原で送ろうと，夫の墓を高月院に移し，阿弥陀如来像を造立，願文を書き，側室の子供らにも優しく接し，藩民から慕われ，

明治維新・・・1868＝67歳：*戊辰戦争には，藩民あげて参戦して多くの戦死者を出しながら，官軍の勝利に貢献するが，
戊辰戦争終・1869＝68歳：城下が凱旋に沸き立つなか，遺族らのために，高月院に戊辰戦没慰霊碑を建立，

学問のすすめ1872＝71歳：*廃藩置県に伴い，藩主一族は華族として東京に定住することにされ，拒否できず再びかつての地に戻り，
明治6年政変 1873＝72歳：

三つの内乱・1876＝75歳：没した。
愛犬の墓も側に建てられる。

「人づくり風土記(宮崎)」，